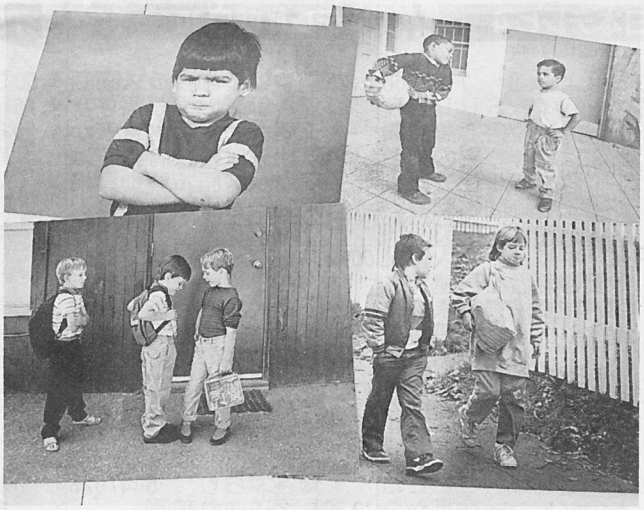
日新聞　新聞定価 朝夕刊月ぎめ 3,925円(本体価格 3,738円、消費税 187円)、1部売り(税込み)朝刊 130円、夕刊 50円　第3種郵便物認可

怒り制御できぬ子ら

彫刻刀振り回す／友の顔踏む

子どもの暴力行為が止まらない。文部科学省の30日の発表によると、3年連続増となった2008年度の件数は6万件に迫った。ごく普通の子が暴発し、我を忘れて級友に暴力をふるう――。現場の教員たちはこんなケースを数多く目の当たりにし、子どもたちの気質の変化を口にする。

（中村真理子、上野創）＝1面参照



「セカンドステップ」で使うカード。「悪口を言われたとき」「横取りされたとき」などカードを見ながら気持ちを学ぶ©Committee for Children、日本こどものための委員会

授業中、6年生の男子児童が突然彫刻刀を振り回し始めた。名古屋市の小学校教員(57)が前に勤務していた学校でのことだ。女性教員から作業のやり直しを命じられた直後だった。

先生が教室から逃げ出した後も、廊下を走って追いかける。間もなく取り押さえられたが、目はすわり、自分でも何をしているのかわからない様子だったという。「落ち着け」と声をかけられるうちに「先生、ごめん」と正気に戻った。

「オレのだけ少ない」。給食の時にそう文句を言われた配膳係の子が怒って容器を丸ごとひっくり返す。バスケットボールの判定に納得できず、他の子に当たって押し倒す。こんなことは決して珍しくない。「みんな、怒りをうまく言葉にできないようだ」

九州の小学校のベテラン男性教員も、キレる子どもたちを多くみてきた。例えば、高学年の男子は休み時間に友達と言い争いになり、イスを壁に投げつけたあと、窓ガラスをパンチして割り、けがをした。落ち着かせると「ああ、しまった」。うなだれて、小さな声で「ごめんなさい」としきりに言った。

こうしたケースで親に知らせると、たいていは「信じられない」「うちではそんなことはまったくない」という答えが返ってくるという。

東京都の区立中学。2カ月前、養護教諭(47)のもとに手当てを求めて男子生徒がやって来た。連れてきた友人に話を聞くと、2人でふざけて小突きあいをしていたところに別の男子生徒が入ってきた。もみ合いの中でその生徒は、床に倒された生徒の顔を、さらに靴で踏んできたという。

「相手の気持ち」指導

「少子化で大事にされ、他の子との間で我慢を経験することもなく育っている。感情のコントロールができない理由はそこに根ざしている」

都立高校で23年間カウンセラーを務めてきた渡辺紀久子さん(69)。渡辺さんは、NPO法人「日本こどものための委員会」(東京都世田谷区)の理事。キレずに問題解決できる子どもを育てるため、米国から導入した「セカンドステップ」という教育法の普及を進める。東京都品川区、練馬区の公立小中学校を始め、各地の学校で取り組まれている。

「セカンドステップ」では、写真のカードを子どもたちに見せていく。「悪口を言われたとき」のカードなら、女の子が「泣き虫」と言われてムッとしている場面。「女の子はどんな気持ち？」「悪口を言い返したらどうなる？」と尋ねてゆく。うれしい、悲しい、驚いた――以前なら成長の中で自然に身につくような基本的な気持ちの学習からプログラムは始まる。

「解決策はたくさんあることを伝えるのが大切です」

教育委員会でも、子どもに感情のコントロールを覚えさせるための取り組みが始まっている。「次の日曜日に水泳の大会があるが、友達から『次の日曜、一緒に遊ばない？』と誘われた。どうする？」。さいたま市教委の用意した「上手に断る」ための授業には、こんな例題がある。小3から中1まで、市立の小中学校のすべてで実施しているプログラムだ。

まず「ごめん」と残念な気持ちを伝えて、「その日は水泳大会なんだ」と理由を言う。そして「だから遊ばない」と断り、最後に「再来週は遊ぼう」と代案を言う。この4段階が必要だと伝える。

「暴力行為、不登校、いじめ。どれも子どものコミュニケーション能力不足に根ざす」と同市教委。そこをほぐす指導が重要というのだ。

寮近くの側溝に靴

査員が見つけた。草の中にあったが、上から見える状態だったという。

捜査本部によると、靴が見つかった付近は鳥取県警が捜

カード強盗繰り返した疑い

「ATM画像は自分」供述の男

をしているという。

男は11月2日、県内の宅に侵入し、刃物を突き現金を奪ったなどとして

統合失調症と容疑者を鑑定

大阪パチンコ店放

大阪市此花区のパチンで7月、客と従業員計5死亡した火災で、殺人と建造物等放火などの容疑捕された高見素直容疑者が、精神鑑定で「統合症」と診断され、事件当精神状態は不安定だったれたことが関係者の話でった。大阪地検は、事件の言動などから刑事責任は問えるとみて、週内に訴する方向で検討している

手わざ 時をつなぐ
心をつなぐ。
創業寛永元年